

CONTENTS

特集 シルバーフェスティバル2019
 …………… 表紙

街頭キャンペーン…………… 2

7区通信／実績・事故報告…………… 4

就業先情報／会員紹介…………… 8

互助会だより…………… 10

わが町ぶらり散歩…………… 11

事務局からのお知らせ…………… 裏表紙

きつと、もつと、これから。



だより

シルバーフェスティバル 2019

10月19日(土)・20日(日)に、恒例のシルバーフェスティバルが百道浜のRKBラジオまつりの中で開催されました。

初日は強い雨風の中フェスティバルが開幕し、一時はどうなるかと心配されましたが、次第に天候も回復し、2日目は晴天の秋晴れとなり多くの来場者で賑わいました。

丹精込めて作られた約1500点の手芸品はまさに芸術品。会場では多くの来場者が足を止め、手に取ったりじっくりと見入ったり、お気に入りのものが見つかったと財布の紐が緩んでいました。

また、熨斗袋の名入れ販売は、今年も盛況で、常連のお客様も多く、受付では筆耕談義に花を咲かせていました。

子供さん向けの体験コーナーは、準備された指人形が完売する盛況ぶりでした。楽しそうに人形を作る子供さんの姿は、いつもながら本当に微笑ましいものです。

ユーモラスな音楽と共に登場したのは、なくてはならない存在となった日向ひょっとこ踊りです。来場者や出展者からはあたたかい拍手や手拍子が湧いていました。

シルバー人材センターの普及啓発活動の一環として、多くの会員の皆様が準備の段階から頑張ってくれ、おかげさまで笑顔の溢れる2日間となりました。



公益社団法人 福岡市シルバー人材センター



街頭キャンペーン



中央区

■実施日時

10月12日(土) 午前10時～

■実施場所

唐人町・六本松
薬院駅前・薬院大通り

■当日は渡辺委員長をはじめ、

出張所担当者及び周辺駐輪場就業者の協力を得て、総勢22名が参加しました。

シルバー人材センターと染め抜いた赤い法被を着用し、粗品入りのリーフレット1,000セットを通行する人に配布し、シルバー人材センターの業務案内と会員募集のPRしました。



南区

■実施日時

10月11日(金) 午前10時～

■実施場所

西鉄大橋駅東口・西口2ヶ所

■安村委員長はじめ会員29名が参加して行なわれました。ウエットティッシュ入りの会員拡大と輝く女性の集い2019のリーフレットを東口・西口に分れ、参加の呼びかけをしました。準備していた600セットは40分足らずで完了しました。



城南区

■実施日時

10月23日(水) 午前9時30分～

■実施場所

堤団地・宝台団地 2ヶ所

■各管理事務所前に集合し、会員拡大・お仕事募集・イベント案内の3種類のリーフレットにウエットティッシュを同封し、10名の未就業会員を中心に配布しました。曇り空の中、1時間ほどで1,000セットの配布を完了しました。



早良区

■実施日時

10月17日(木)午前10時30分～

■実施場所

サニー高取店前・ハローデイ西新店前

- 波多江委員長はじめ総勢8名でウエットティッシュ、輝く女性の集いの案内及び会員募集のリーフレットを配布し、シルバーへの入会をアピールしました。受け取った方からは入会方法や仕事内容などの質問がありました。



西区

■実施日時

11月9日(土)午前10時～

■実施場所

九大学研都市駅前 イオン周辺

■リーフレット配布部数

1,000セット

■参加者数 20名

- リーフレットを受け取った方から子育て支援等の相談を受けました。



東区

■実施日時 10月5日(土)午前9時～

■実施場所

○JR箱崎駅(8名)

○JR千早駅・西鉄千早駅(28名)

○JR香椎駅(24名)

- 合計60名の会員が参加して、リーフレットとウエットティッシュを配布し、シルバー人材センターセンターのPRとご利用をお願いしました。



博多区

■実施日時 10月30日(水)午後3時30分～

■実施場所

山王公園付近

各職群班・地域班の自宅付近

- 当日は古賀委員長、坂稻副委員長、川島安全担当の他、各職群班・地域班の班長が山王公園付近のマンションやそれぞれの自宅付近へ分散して、リーフレット約1,000部を配布し、シルバーへの入会を呼びかけました。



中央区 ちゅうおうく

福祉・家事援助サービス全体会議

福祉・家事援助サービス全体会議が、9月26日(木)午後1時30分より出張所会議室で開催されました。

冒頭、渡辺委員長から「最近、福祉・家事援助サービスでの事故が多くなっている。安全に十分配慮するとともに、家事援助に耐えられる体力維持に努めて欲しい」と挨拶がありました。



福祉・家事援助サービス憲章の唱和のあと、櫻井専任担当理事から「喜ばしいことに最近女性会員数が増加している。派遣事業などによる就業先も広

がっており、シルバーの女性に頼んで良かったと言われるようになって欲しい」と挨拶があり、加えて「輝く女性の集い2019」への参加要請がなされました。

続いて出張所の柳原安全担当から事故状況と適正就業の留意点についての説明がありました。

会員の体験発表では、成功例や失敗談なども交えて具体的な説明があり、「お客様から感謝の言葉を頂いた時の喜びが最高です。」との発表がありました。

櫻井専任担当理事からの「就業についての注意点」の説明に続いて、各種研修会の予定についての説明と参加要請がありました。

最後の質疑応答では、実務体験からくる様々な質問や意見が活発になされました。



広報委員 大津 英世

南区 みなみく

地域懇談会



9月12日(木)から10月17日(木)5班に分れ延べ74名の会員が参加して開催されました。

林副委員長の

司会で始まり安村委員長の挨拶に続いて、

- (1) シルバー人材センターの現状
- (2) 令和元年度の事業展開
- (3) 今後の行事予定
- (4) 互助会サークルのグループ紹介
- (5) 独自事業の説明

を詳細にわたり話がありました。

質疑・意見・情報交換では、参加者は少数でしたが、「この会は是非継続して欲しい。」など本音で活発な意見があり、有意義な地域懇談会でした。

シルバースフェスティバル

10月19日(土)20日(日)の両日、RKBラジオまつりがRKB放送会館広場で開催されました。



シルバースフェスティバルに、南出張所の互助会サークル「ホビーライフの会」が参加しました。

普段から準備していたアクセサリ・バッグ・エプロンからシャツ・洋服など約300点を出品。



丹精込めて出来上がった手づくりの作品は、来場者が足を止め手に取り品定めをし、つい懐も緩む盛況ぶりでした。

広報委員 水田 國生

7区通信

城南区 じょうなんく

「きんしゃい城南DonDon」で 開催される教室紹介

「きんしゃい城南DonDon」が開設されて3年目を迎えました。以前にご紹介しました「まんさくの会」や「健康麻雀教室」の他に、「水彩画教室」「切り絵教室」「押し花教室」「わいわいサロン」などが自主運営されています。



この中の「わいわいサロン」は平成30年4月から同会場で「吊るし飾り・人形・手まり」などの制作をしています。

開催日は毎月第1・3土曜日(午前10時~12時と午後1時~3時の2回に分けて)で、会員をはじめ一般



市民の方を含む16名が参加しています。

参加費は1回500円(コーヒー付)で、主宰の永

富さん(一般の方)が指導されています。

参加者の最高齢は90歳で、「とてもわかりやすく、優しく教えていただいています」「家で何もすることがなく、ここで皆さんとわいわいお喋りをしながら作品を作るのが楽しいです」と語っておられます。

ご興味のある方は城南出張所にお問合せの上、是非一度見学にお越しください。



広報委員 小寺 勇吉

早良区 さわらく

交通安全教室



早良市民センターにおいて11月15日(金)午前10時より90名の会員の参加で開催されました。

波多江委員長はじめ来賓の方々から、シルバーでは目標値よりかなり多くの事故が既に発生しており、事故防止の認識を深めるよう挨拶がありました。

早良警察署交通総務係警部補矢加部忍様より「高齢者の交通事故防止」の演題で講演がありました。その中で、「遠回りでも横断歩道を渡る」などの安全通行のポイントを指摘された上で、運転中のスマホや携帯は絶対ダメ、夜間や雨天時の運転を控える補償運転を実践しよう、それでも運転に不



安を感じたら、運転免許の自主返納を検討しようと説明されました。

民間接遇研修



早良出張所会議室において11月15日(金)13時30分より16名が参加して開催されました。

事務局清水職員より「コンプライアンス」の説明後、株式会社ウイルブレイン所属で印象アップコンサルタントの高倉和世講師により接遇研修が行われました。

同講師から接遇マナーの基本説明や、挨拶の仕方を実際に練習した後、ケーススタディーとして電話受付、家事援助、手取除草等の問題ケースを適切な接遇話法にしていく試みもありました。おわりに、今日の内容を家に帰って読み直し実際に生かして下さいと締めくくられました。

広報委員 金田 博保

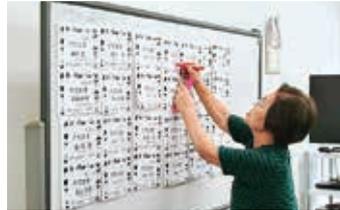
西区 にしく

筆耕班勉強会

現在19名を擁する西区の筆耕班は、毎月第3水曜日に「勉強会」を開いています。

萩尾班長の献身的な世話と今村会員の指導のもと、参加者の勉強の姿にはある種の“パワー”が感じられました。毎回の勉強会で実施している「ミニ判定会(西筆耕班独自)」では、テーマに沿った題材に取り組み、全員の作品が掲示され、今村会員の指導等に聞き入る会員は真剣そのものでした。

小、中学校及び保育園、幼稚園に委員長名で筆耕のお願い文書を発送されており、今年は会員が全て



無償で宛名を書き55通発送されました。

多くの「依頼」が舞い込み、会員の活躍の場が増えることを期待したいものです。



東区 ひがしく

福祉・家事援助サービス会員基礎研修会

10月16日(水)午後1時30分から福祉・家事援助サービス「会員基礎研修会」が東出張所会議室で開催されました。

福祉・家事援助サービス事業憲章の唱和に続いて、「伸びゆく福祉・家事援助サービス」「のぞましいコミュニケーションのために」のビデオ学習がありました。

櫻井専任担当理事より福祉・家事援助サービス事業会員用「お仕事読本」に基づいて説明がありました。引き続き、経験豊富な桑野元子会員による就業体験をユーモアたっぷりに話され、その後、質疑応答、意見交換で終了しました。



「福祉・子育て・家事援助班」 全体会議



令和元年10月10日(木)西出張所会議室に於いて43名出席のもと、櫻井専任担当理事並びに事務局より生活支援事業所 川野職員及び家事班担当者出席のもと開催されました。

冒頭、生島委員長より、挨拶及び西出張所の業績・事故発生状況等の現状報告があり、家事班一層の活躍を期待する旨の話がありました。

今回は出席者を数人のグループに分けて、家事援助、子育て支援等就業上の疑問や判断に迷う事などを、グループ毎に自由に話し合うという形で進められ、活発な話し合いがなされていました。

話題には上りませんでした。平成29年度より始まった「日常生活支援」事業にも、西区では主として家事班から60名が登録して活躍しています。

広報委員 岡崎 幸雄

ふれあい日帰りバス旅行 ～唐津高島宝当神社と肥前鷹島～

ふれあい日帰りバス旅行が11月6日(水)、7日(木)の2日に分けて開催され、両日とも天候に恵まれ、6日40名、7日42名、計82名の参加がありました。



西鉄香椎駅前を7時45分に出発、11月2～4日開催された「唐津くんち」の余韻が残る唐津市に到着しました。

チャーター船で高島へ渡り、宝当神社にお参り、年末ジャンボなどの宝くじが当たるように祈願しました。

続いて、松浦市の肥前鷹島に移動し、「割烹よし乃」にて新鮮な魚料理の昼食をとりました。

昼食後は、肥前町大浦の棚田(棚田百選)を眺めた後、唐津に戻り、東京駅を設計した唐津出身の辰野金吾が設計した「旧唐津銀行」の建物を見学しました。

最後は、「おさかな村」でお買い物をして午後5時頃事故もなく無事到着しました。

広報委員 今林 隆雄

博多区 はかたく

親睦バス旅行

互助会の日帰り親睦バス旅行が10月9日(水)及び16日(水)に行われました。両日ともまずまずの天候に恵まれ、合わせて35名の会員が参加しました。

当日は博多駅筑紫口前に集合し、古賀委員長に見送られながら、午前9時すぎに出発しました。

途中、五ヶ山ダムを見学して、目的地の「那珂川清滝」に向い、昼前に到着、温泉で汗を流した後、宴会に入りました。

宴会では、はじめに抽選会が行われた後、海・山の幸で造られた料理を肴に、それぞれ好みのお酒やドリ



ンクをいただきながら、恒例のカラオケ大会を楽しみました。

帰りは、地元の野菜や果物、醤油などの販売所に立ち寄り、お土産をショッピングして、夕方前には到着しました。

役員会



10月30日(水)午後2時から博多市民センターにおいて開催されました。

はじめに古賀委員長の挨拶及び事業報告が行われた後、坂稲副委員長から区運営検討委員会報告、来年5月退任予定の古賀委員長の後任候補者選出のための選挙管理委員会委員(5名)の推薦があり、これを承認しました。

次いで、福沢副委員長から行事説明、川島安全担当から安全成績報告及び認知症予防ためのトレーニングの実践指導が行われました。

広報委員 白石 寛治

令和元年度 実績報告

会員数	7,169名
男性	4,424名
女性	2,745名

就業者数	4,736名
就業率	66.1%
事業収入	13億4880万円

(令和元年10月末現在)

令和元年度 事故発生状況

傷害事故	15件
賠償事故	15件
自動車事故	8件
合計	38件 (前年同月比 +2件)

(令和元年10月末現在)

今年度、予想を上回る多数の事故が発生しています。4月から10月までの間で、前年同月までの発生件数を2件オーバーしました。中でも傷害事故15件中、半数を超える8件が自転車やバイクによる転倒事故でした。また、上記件数には含まれていませんが、自転車に乗っていて就業途上に発生した交通事故が2件ありました。

自転車は便利で手軽に利用できる移動手段ですが、特に雨上がりや風が強い日の運転はスリップ転倒し易く、早朝や夕暮れ時の暗い時間帯の運転は道路の状態や危険箇所が分かり難いなど、とても危険です。また、自転車運転の交通ルールを軽視し、歩行者に当たって死亡させ、1億円近い賠償金を支払うことになった事例が発生しています。会員の皆様が、これらの当事者にならないよう十分注意してください。

就業先情報

社会福祉法人福岡障害者支援センター様(中央区)

「おおほり苑」様へ感謝状贈呈



社会福祉法人福岡障害者支援センター「おおほり苑」様へ6月12日、平成30年度協力事業所顕彰要綱に基づき、桑田常務理事より感謝状と記念品を贈呈しました。

福岡障害者支援センターは、学校を卒業してもど

こにも行き場がない子どもたちの自立支援を行っています。

同センターの施設の一つである「お

おほり苑」には、シルバー人材センターの会員2名が派遣され、施設利用者の送迎運転業務に従事しています。

おおほり苑理事長の野口様は贈呈式で「送迎対象者が障害を抱える人たちであり、安全はもとより、彼等に対する理解・対応力が必要です。そういったことをシルバー人材センターの方は十分理解していただいております、利用者からも感謝されています」と語られました。



広報委員 大津 英世

フドーキン醤油株式会社 福岡支店様(東区)



平成30年度協力事業所顕彰のため、桑田常務理事と井上専任担当理事が7月8日、フドーキン醤油株式会社福岡支店(箱崎ふ頭5丁目)を

訪ね、支店長の佐藤様に感謝状を贈呈しました。

フドーキン醤油は、大分県臼杵市で1861年(文久元年)創業です。以来、159年の長きにわたり醤油、みそ、ドレッシングの製造・販売を手がけられています。

同社の分銅のロゴマークは「確かさ・正直さ」を表しており、裏表のない企業姿勢が製品づくりや管理に生かされています。

先端技術の取組みとともに伝統も大切にされ、ギネス認定世界一の木樽を使った、昔ながらの木製

醸造樽の醤油づくりも継承されています。

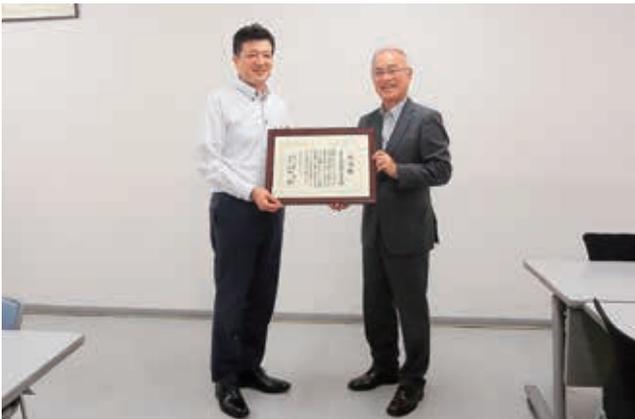
同支店には、平成28年12月から当センターの会員1名が派遣され、商品の搬入、検品、配達準備に従事しています。

安心して安全な就業環境づくりに熱心な同社では、定期的な就業状況のヒアリングも行われ、同社の定年退職者と一緒に就業することでの確かな指示を受けることができたり、重量物は必ず2人で抱えたりするなど、高齢者の就業に深い理解を示されています。



広報委員 今林 隆雄

株式会社九州丸和ロジスティクス様(東区)



平成30年度協力事業所顕彰のため、7月8日に桑田常務理事、小林委員長が東区蒲田3丁目にある株式会社九州丸和ロジスティクスを訪問し、管理部課長の久保山様に感謝状を贈呈しました。

株式会社九州丸和ロジスティクスは、埼玉県吉川市にある株式会社丸和運輸機関の九州地区の拠点として、2005年(平成17年)に開設され、「マツモトキヨシ」などを主要取引先として医薬品などの製品の集荷・配送までを一括して行っています。

シルバー人材センターの採用は、平成21年4月

からで、企業活動の一環として高齢者の活用を行うことによって地域に貢献することが会社の方針としているということです。

就業者は8人で、倉庫など社内の清掃に月曜日から土曜日の午前9時～午後1時の4時間を4人が交代で就業しています。

久保山様からは、シルバーの方々には元気がよく、仕事もそつなくこなされており、助かっていますとのことでした。

また、就業者の方も働きやすく、最高の職場とのことでした。



広報委員 今林 隆雄

会員紹介



黒澤 正孝さん
74歳
(東区)

【入会のきっかけ】

64歳で退職、半年休養し、平成22年3月にハローワークの薦めにより入会。当時のシルバーの委員長の一言がこれからの人生の進路となる。



①少し働いて賃金を貰う。②趣味を磨く。③社会貢献する。この三カ条を実践することにより、心身とも元気な人生を過ごせる。健康平均寿命(72歳)を超えられたのも医者、家内のお蔭、人生100年時代、まだまだ壮年のつもり、何事にも無理せず、励みたい。

【就 業】

入会して間もなく、運送会社に3年、車販売会社に3年の就業を得て、今は土井のスーパーにお世話になり3年目、週3日午前7時から12時の5時間、朝型の私には最適、毎朝5時起床も苦にならない。

私の担当は、惣菜品、飲料品、先入れ先出しで賞味期限をチェックしながら並べ替えていく。特売日には物量も多く緊張する。合間にカートの回収も。気が付いたら終わり時間に、アツという間に時は過ぎる。私は、職場で最年長だが、若い皆さんの元気、応援を貰い、シルバーの相手と日程調整もでき、大変働きやすい職場です。

【趣味を磨く】

リタイアして取り組む大切なこと、趣味を磨き社会貢献することに注目。脳トレ且つ健康にも役立つことでオカリナ、ケーナ吹奏に挑戦を決意する。

公民館の紹介で近所の文化サークルに入会し、毎日猛練習に励み、8年経過、プロ奏者の指導により舞台の上でも吹けるようになりました。地域の公民館、老人ホーム、イベント等にも積極的に参加しています。

2年前の1月の芸能大会にソロ出演し、同じ愛好家(弦楽器)より誘いを受け、来年1月の芸能大会(あいれふホール)には共演すべく楽しみにしています。シルバーバンド結成です。

会友の皆さんで関心お持ちの方、如何ですか。



広報委員 今林 隆雄

歴史探訪「博多まち歩き」



10月24日(木)午前9時45分、小雨が降るなか会員87名が参加し開催されました。

波多江会長の挨拶に続き平田行事担当より注意事項の説明があり、10時にスタート約2時間ボランティアガイドのユーモアを交えながらの丁寧な説明を聞き、伝統ある博多のまちの歴史を学び、再認識させられた楽しい散策でした。

雨降る中、参加頂いた会員の皆様ありがとうございました。互助会業務委員一同心よりお礼申し上げます。



互助会行事の中でも人気ある歴史探訪「博多まち歩き」このコースは今年が最後とあって、例年以上の参加申込者数でしたが、生憎の降雨のため多くの欠席者が出てしまい少々心残りの行事となりました。

来年度は、新たな「まち歩き」コースを検討中です。

多数参加されますよう心よりお待ちしております。

互助会業務委員 田中 武司





わが町ぶらり散歩

～西区姪浜～

71



西区役所等がある姪浜は、古代から現代まで多くの歴史が刻まれた町といえます。

一つには「旧唐津街道」に見る姪浜宿です。宿場町の風情は徐々に姿を消しつつありますが、沿道には今でも当時の面影を偲ぶ町家があります。いま一つには鎌倉時代の高僧「南浦紹明」(後の大応国師)が、文永7年(1270年)に開山(開創は北条時定)した「興徳寺」とその関連寺院がある事です。

また旧唐津街道沿いには多くの弥生時代の遺跡も発掘されています。戦前戦後は炭鉱の町としても大いに潤いました。

今回は地下鉄姪浜駅に降り立った時、南側正面に



兎と龍のモニュメント

見る「兎と龍」のモニュメント(大応国師にまつわる伝説)が語る物語から、「興徳寺」を中心としたところを歩いてみましょう。



姪浜駅北側より姪浜大通りを北へ約1kmの先を左に折れ、姪浜特有の「細い道」を通りながら進みます。途中にある「神功皇后伝説の真根子神社」の前を過ぎ、突き当たりが「興徳寺」です。



興徳寺

興徳寺から旧202号線を横切り直進すると「旧唐津街道姪浜宿」の西の構え口辺りに出ます。唐津街道を横切り路地に入った所に、荒れた海に飛び込んだ兎が「八大竜王」となって天に上ったと云われる「祠」があります。(龍王館)



龍王館

再び唐津街道を、僅かに残る町屋風景を見ながら、東に500m行き左路地に入ったところに「旦過だるま堂」があります。

ここは旦過寮と呼ばれ、興徳寺を訪れる旅の僧たちの宿泊場所(接待場所)があったところです。堂内には、「だるま大師像」や福岡市有形文化財「胴造塔婆型厨子」等があり、また境内には室町時代の五重の石塔(姪浜砂岩)があります。



旦過だるま堂

ただ、この石塔は損傷が激しく金網に覆われています。

再び唐津街道に出て左側にある「住吉神社」に参拝しながら、他は次の機会の楽しみとして帰途に就きます。

参考文献:西区歴史よかとこ案内人ガイドブック

兎と龍のモニュメント(地下鉄姪浜駅南口前)

南浦紹明(後の大応国師)は今から700年前、宗(中国)に渡り、虚堂禪師(きょどうぜんじ)のもとで9年間の厳しい修行を終え帰国の途に就きました。暗い山道を港へと急いでいた時、一匹の兎がぴょんと飛び出し助けを求めようとして紹明のもとへ来ました。狼に追われていたのです。紹明が念仏を唱えていると狼は山に逃げましたが、兎は紹明から離れようとしません。紹明はそのまま懐に抱いて港へ急ぎ帰国の船に乗り込みました。

出帆して間もなく穏やかな海でしたが、途中で突然嵐になり大波に船は今にも沈没しそうになりました。紹明は船の舳先で熱心に念仏を唱えていましたが、その時です、懐に抱いていた兎が急に海に飛び込みました。すると荒れた海の中に一筋の穏やかな道が出来、乗客はみな無事に姪浜の港に辿り着くことが出来ました。海に飛び込んだ兎は燦然と金色に輝き天高く登って行ったと思ったら、「八大竜王」の姿になって天に消えていきました。

広報委員 岡崎 幸雄

配分金にかかわる確定申告について

シルバー人材センターから支払われる配分金は、所得税法上では「雑所得」として取り扱われます。従って、次に該当する場合、確定申告の必要がありますので、ご注意ください。

「雑所得控除」＝「必要経費等の控除」就業の際の交通費等は、この「必要経費等の控除」に含まれます。

収入が配分金だけの場合 1年間の配分金合計が103万円を超える場合

所得税額＝(配分金－雑所得控除65万円－基礎控除38万円)×所得税率

配分金の他に、公的年金収入がある場合

所得税額＝{(配分金－雑所得控除65万円)＋(公的年金等－公的年金等控除額)－基礎控除38万円－その他の所得控除}×所得税率

公的年金等控除額

65歳未満の場合

公的年金等の収入金額	公的年金等の控除額
130万円未満	70万円
130万円以上～410万円未満	年金収入×0.25+37.5万円
410万円以上～770万円未満	年金収入×0.15+78.5万円
770万円以上	年金収入×0.05+155.5万円

65歳以上の場合

公的年金等の収入金額	公的年金等の控除額
330万円未満	120万円
330万円以上～410万円未満	年金収入×0.25+37.5万円
410万円以上～770万円未満	年金収入×0.15+78.5万円
770万円以上	年金収入×0.05+155.5万円

その他の所得控除

扶養控除額＝

被扶養者1人あたりの控除額×扶養人数

◎年金所得者に係る確定申告不要制度について

公的年金等の収入金額の合計額が400万円以下で、かつ、公的年金等に係る雑所得以外の所得金額が20万円以下である場合には、所得税の確定申告をする必要はありません。

(注1)この場合であっても、所得税の還付を受けるための確定申告書を提出することができます。

(注2)所得税の確定申告が必要ない場合であっても、住民税の申告が必要な場合があります。住民税に関する詳しいことはお住まいの市区町村におたずねください。

被扶養者1人あたりの控除額

区分			控除額	内容
控除対象配偶者	一般:70歳未満	通常	38万円	配偶者控除
	老人:70歳以上	通常	48万円	老人配偶者控除
扶養親族	一般:16歳以上で「特定・老人」に該当しない人	通常	38万円	扶養控除
	特定:19～22歳	通常	63万円	特定扶養控除
	老人:70歳以上	通常(一般)	48万円	老人扶養控除
通常(同居)		58万円	老人扶養控除+老親控除(10万円)	

配分金等の個人情報の取り扱いについて

配分金等の個人情報は、個人情報保護法第16条・第23条により、国等の機関(税務署や市町村等)から情報の開示を求められた場合は、情報提供に応じる可能性がありますので、ご了承ください。

配分金収入、公的年金収入以外に収入がある方は、事例の取扱いとは異なります。

詳細につきましては、最寄りの税務署にご相談ください。

※配分金支払証明書と会議出席等の源泉徴収票は、それぞれ令和2年1月末頃に発送いたします。

※配分金の証明は平成31年1月～令和元年12月までに就業した証明です。請負による収入金額については、その約した役務の提供を完了した日になるので、給与所得と発行期間にずれが生じます。

「ふくおかシルバーだより」

発行元／公益社団法人福岡市シルバー人材センター

◎ご意見やお便りをお待ちしています。

〒812-0044 福岡市博多区千代1丁目25-15

TEL(092)643-8200 FAX(092)651-5000

[HP] <http://www.fukuoka-sjc.org/> [e-mail] honbu@fukuoka-sjc.org